

いたばし魅力ある学校づくりプラン2035 策定方針（案）について

別紙
令和6年7月25日
教育委員会事務局教学学校配置調整担当課

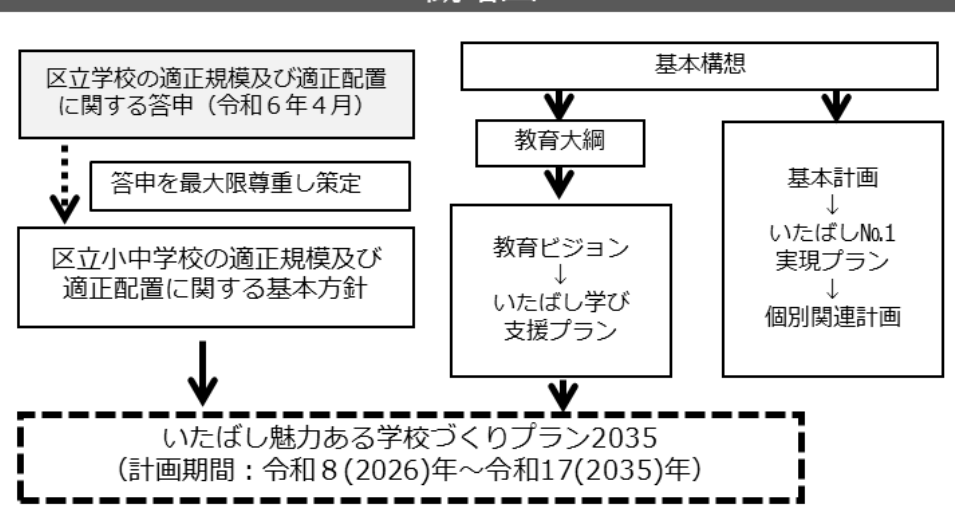
I 策定の背景・目的

- 区では、平成26年2月に学校の老朽化対策と適正規模・適正配置の視点を一体的に推進し、教育環境の充実による「魅力ある学校」を整備するため、「いたばし魅力ある学校づくりプラン」を策定した。
- 同プランは、計画期間を平成28(2016)年度から令和17(2035)年度までの20年間とし、10年ごとに「前期計画」（平成28(2016)年度から令和7(2025)年度）と「後期計画」（令和8(2026)年度から令和17(2035)年度）に分けている。
- 後期計画期間における整備を着実に進めるため、「いたばし魅力ある学校づくりプラン2035（以下、「魅力プラン2035」という。）」を策定する。
- 策定にあたっては、「いたばし魅力ある学校づくり審議会（東京都板橋区立学校適正規模及び適正配置審議会）」（以下、「審議会」という。）による答申（令和6年4月）、その後策定した「板橋区立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」（令和6年7月）（以下、「基本方針」という。）を基に、本プランを検討する。

II 魅力プラン2035の位置づけ

魅力ある学校づくりを着実に進めていくための具体的な計画として、策定する。

概略図



III 計画期間

魅力プラン2035は、計画期間を令和8（2026）年度から令和17年度（2035）年度までとする。

| 令和8年度 2026年度 | ～ | 令和17年度 2035年度 |
|---|---|------------------|
| 板橋区教育大綱 | | |
| 板橋区教育ビジョン2035(仮) | | |
| いたばし魅力ある学校づくりプラン2035(仮) (いたばし魅力ある学校づくりプラン後期計画) | | |

IV 策定の基本的な考え方・方向性

- (1) 多くの学校が更新を控えている状況や将来的に児童・生徒数が減少する可能性を踏まえつつ、前期計画に続き、老朽化対策と適正規模・適正配置の視点から、充実した教育環境の整備を進める。
- (2) 新しい時代の学びや子どもたちを取り巻く環境の複雑・多様化に対応していくため、魅力ある学校づくりをめざす。

V 検討体制

(1) 検討経緯

学識経験者、区民委員、区議会議員、学校関係者、区職員で構成された審議会により、区が今後取るべき基本的な考え方や具体的方策についての検討結果が答申されている。答申を受けて区が定めた基本方針に基づき、本プランを検討していく。

(2) 今後の検討

庁内で関係部署による検討組織を設置し、調査、検討を進める。

VI 主なスケジュール

| | | |
|------------|-----|----------------------|
| 令和6（2024）年 | 9月 | 魅力プラン2035策定方針 |
| | 11月 | 魅力プラン2035骨子案（中間のまとめ） |
| 令和7（2025）年 | 1月 | 魅力プラン2035素案 |
| | 2月 | パブリックコメント |
| | 5月 | 魅力プラン2035策定・公表 |

議案第 23 号

いたばし魅力ある学校づくりプラン2035の策定方針（案）について
上記の議案を提出する。

令和 6 年 7 月 25 日

提出者 板橋区教育委員会教育長 長沼 豊

いたばし魅力ある学校づくりプラン2035の策定方針（案）について
いたばし魅力ある学校づくりプラン2035の策定方針（案）について審
議する。

（提案理由）

いたばし魅力ある学校づくりプラン2035の策定にあたり、策定方針を決
定する必要がある。